

「ものづくり」
7製品を認定

川崎の推進協

中小企業が開発した工業製品の販促などを支援する川崎ものづくりブランド推進協議会(会長＝西岡浩史・川崎商工会議所会頭)は、二〇〇八年度の「川崎ものづくりブランド」に七製品を認定した。二月十二日に川崎商議所で認定製品の展示説明会や講演会を開く。同ブランドの認定は〇八年度で五回目。

イクシスリサーチ(川崎市幸区)の「超小型DCモーターコントロール」(協同インターナショナル(同宮前区)の「ドライアイスフラスト洗浄

機」、東信電気(同麻生区)の「ドライプレコイダー」などを新たに認定した。今回初めて、プレス技術やメッキ技術で加工した「部材」を二件選出したという。

認定製品は同ブランドのロゴマークを使う権利を得るほか、ホームページや紹介冊子などを通じてPRしてもらえる。〇七年度までに二十九製品が認定されている。